

# グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



## 目次

### < グラフでみる "コロナショック"からの再生 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

### < 今月のトピック >

- ・農林水産物・食品の輸出動向



# 1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。 <https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>  
 ここでは、加工食品の調査対象のうち、特に今般の新型コロナウイルス感染症の影響が大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

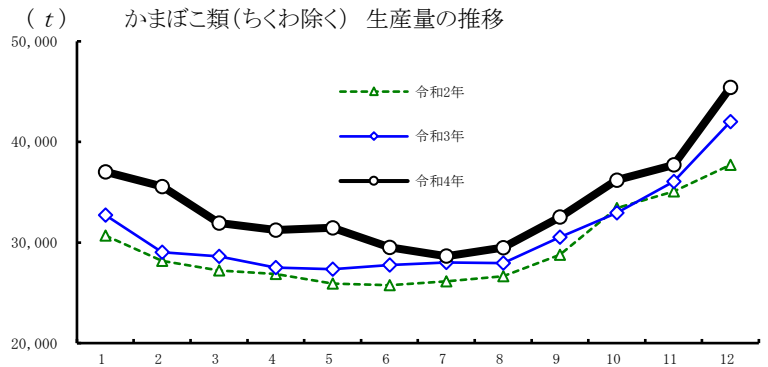
なお、詳細は、11頁以降の「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

## ○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

**12月 8.2% 増加**

令和元年同月比 14.8% 増加

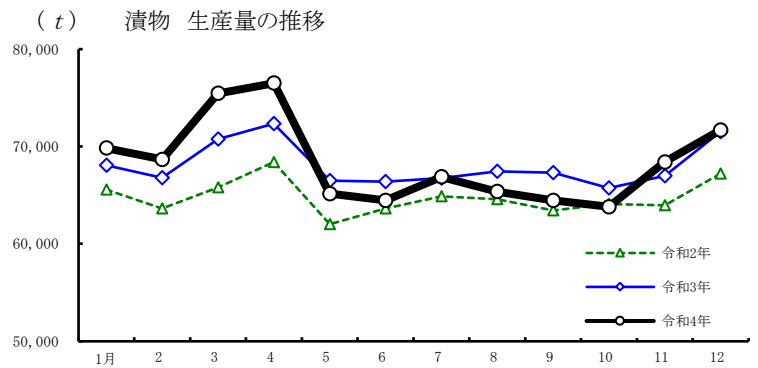


## ○ 漬物

生産量 対前年同月比

**12月 0.3% 増加**

令和元年同月比 9.1% 増加

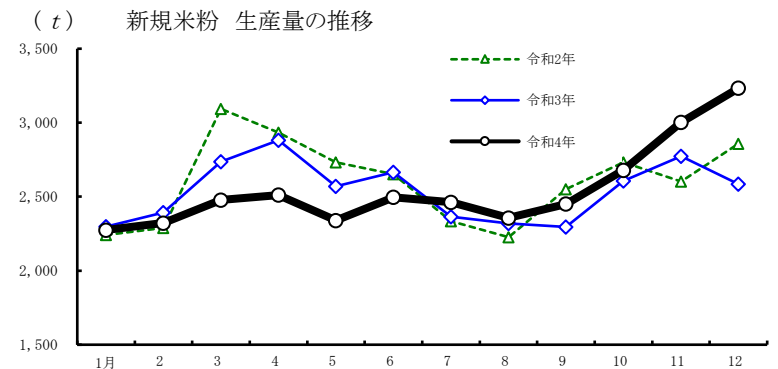


## ○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

**12月 25.1% 増加**

令和元年同月比 28.0% 増加

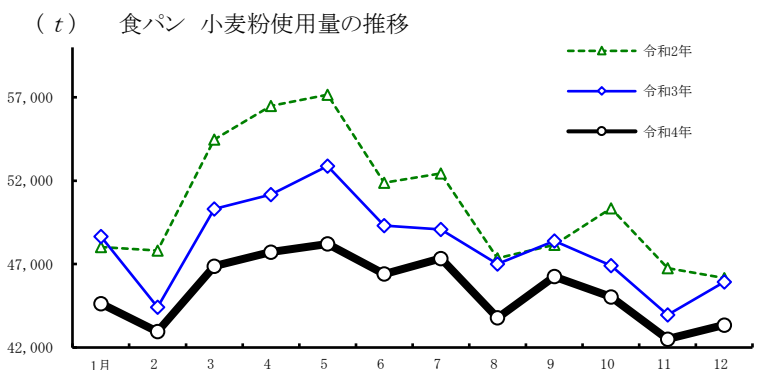


## ○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

**12月 5.6% 減少**

令和元年同月比 8.5% 減少



# 1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

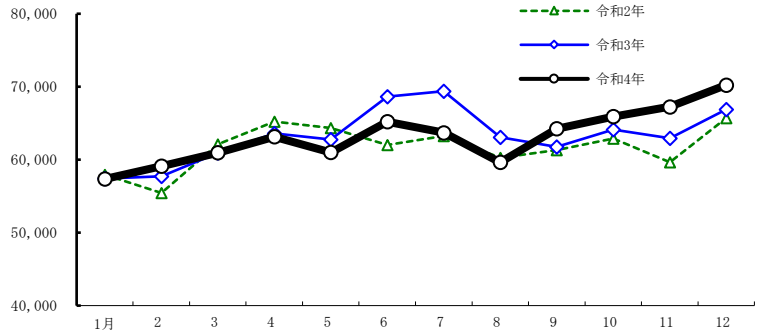
## ○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

**12月 5.0% 増加**

令和元年同月比 16.0% 増加

(t) 生めん類 小麦粉使用量の推移



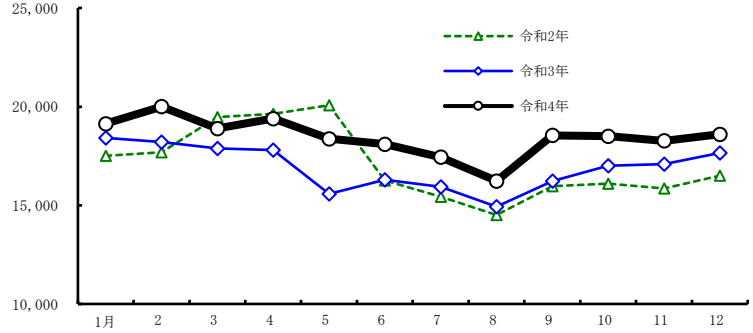
## ○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

**12月 5.3% 増加**

令和元年同月比 7.4% 増加

(t) カップめん 小麦粉使用量の推移



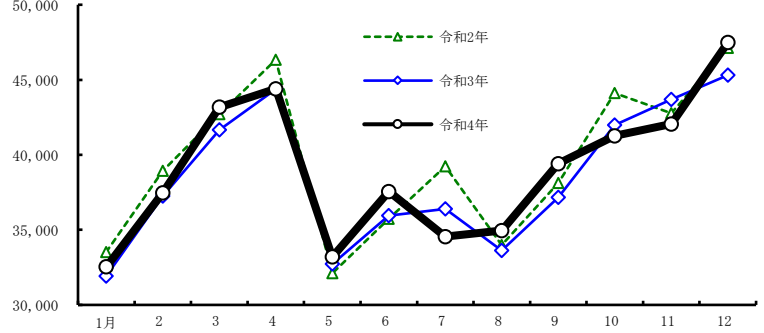
## ○ 味噌

生産量 対前年同月比

**12月 4.8% 増加**

令和元年同月比 8.9% 増加

(t) 味噌 生産量の推移



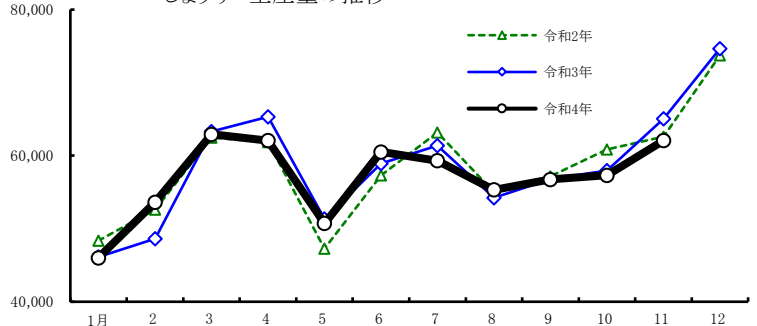
## ○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

**11月 4.6% 減少**

令和元年同月比 4.6% 減少

(kl) しょうゆ 生産量の推移



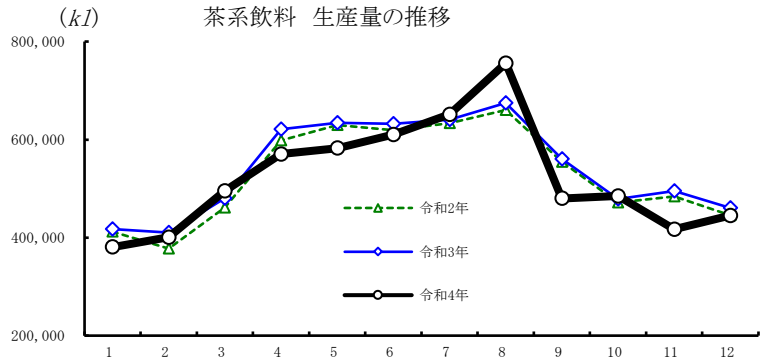
# 1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

## ○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

**12月 3.4% 減少**

令和元年同月比 **6.3% 減少**

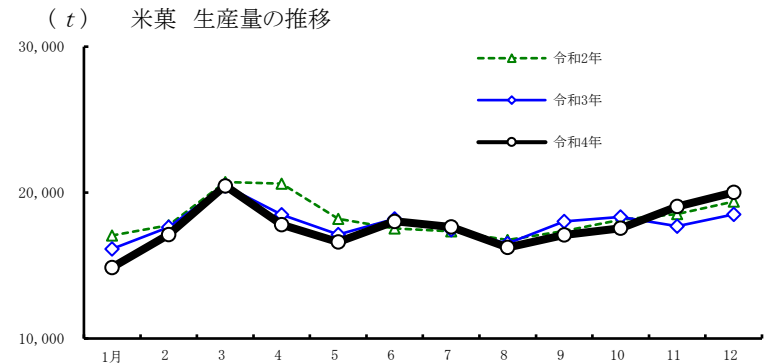


## ○ 米菓

生産量 対前年同月比

**12月 8.1% 増加**

令和元年同月比 **4.2% 減少**

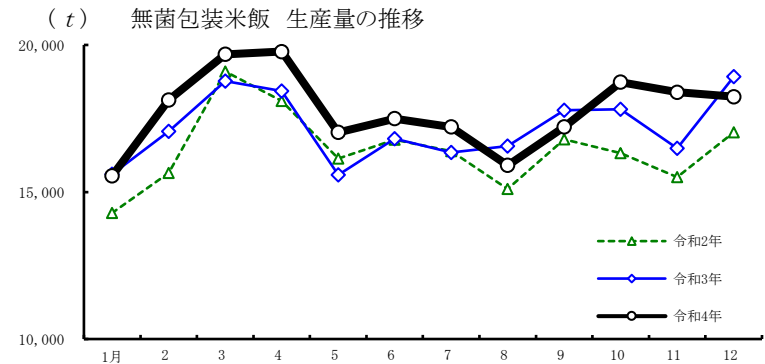


## ○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

**12月 3.6% 減少**

令和元年同月比 **7.5% 増加**

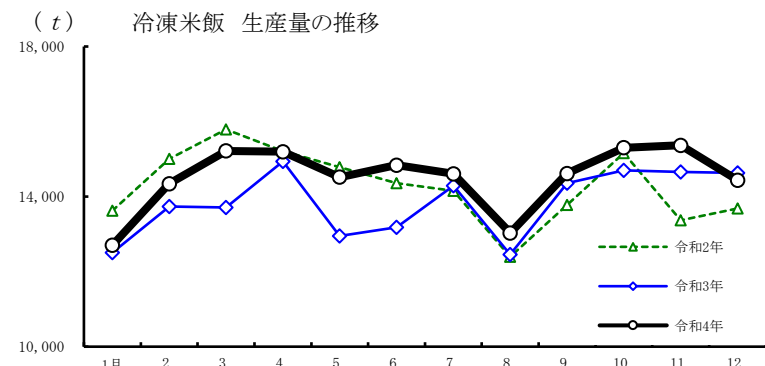


## ○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

**12月 1.3% 減少**

令和元年同月比 **3.3% 増加**



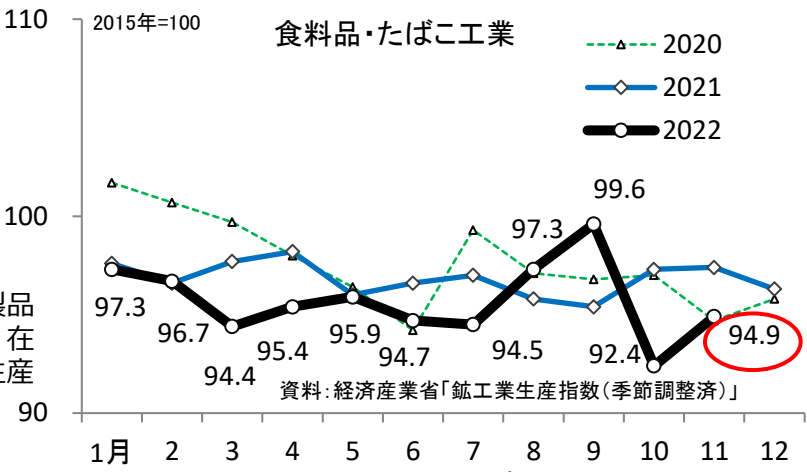
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向  
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

11月 2.6% 減少

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

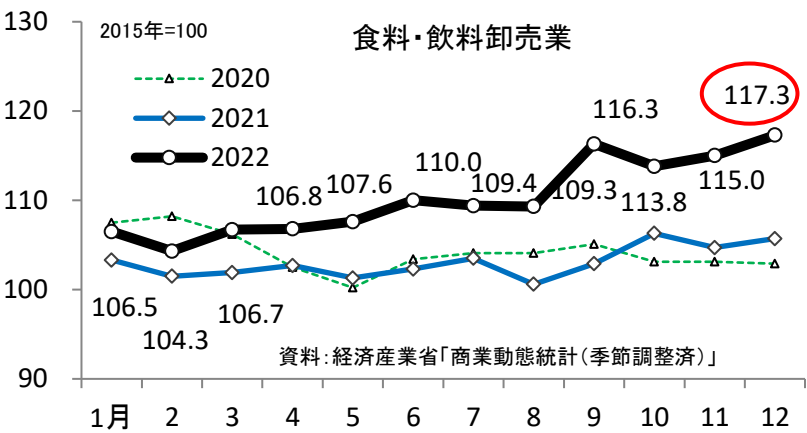
○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

12月 11.0% 増加

2019年同月比 9.5% 増加

経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。

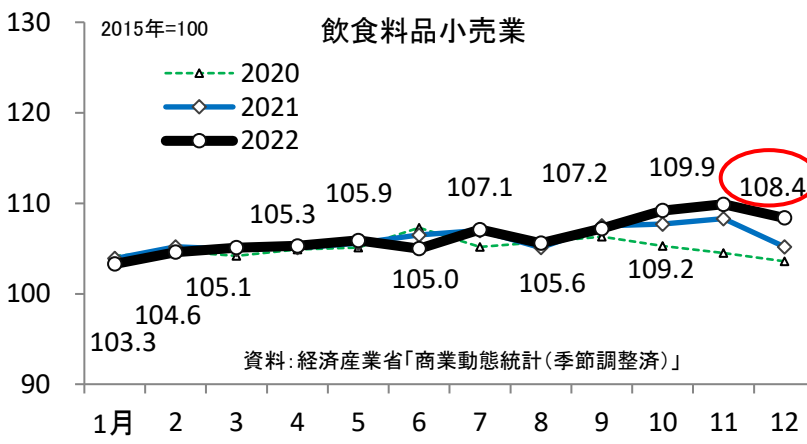


○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

12月 3.0% 増加

2019年同月比 4.4% 増加

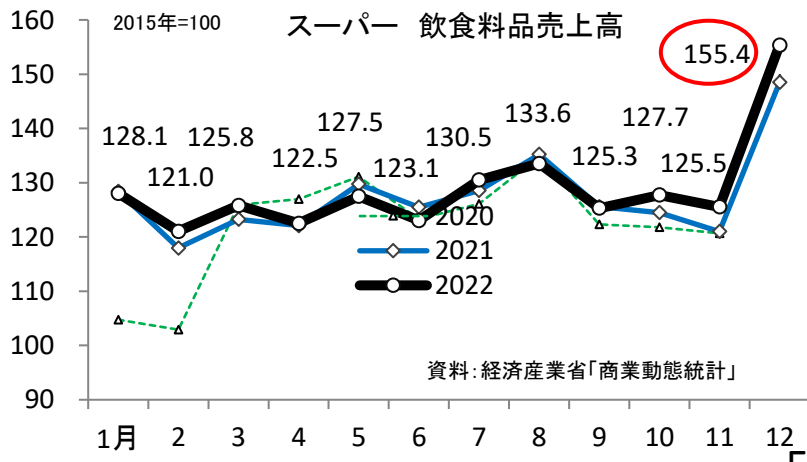


○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

12月 4.6% 増加

2019年同月比 22.8% 増加



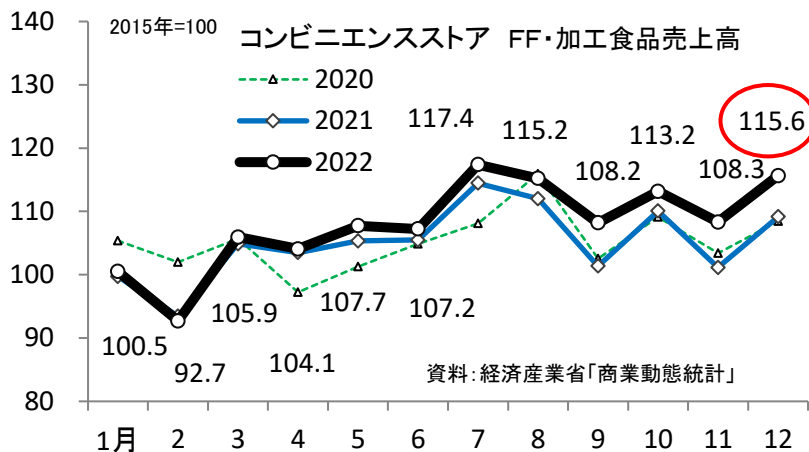
## 2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

### ○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

**12月 6.0% 増加**

2019年同月比 **0.1% 減少**

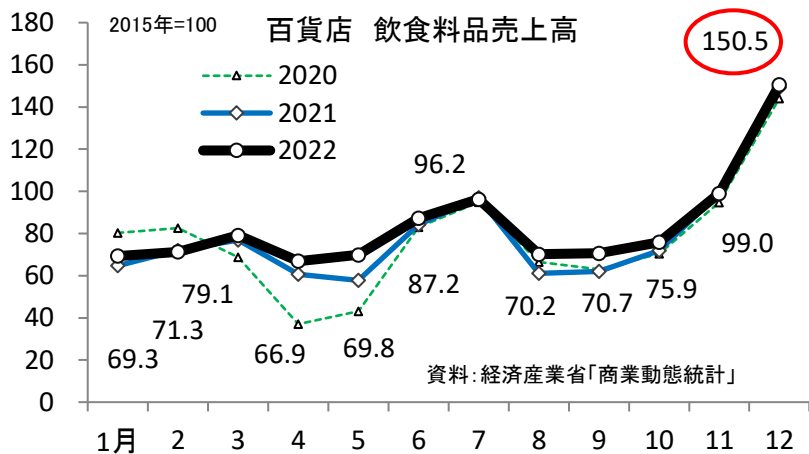


### ○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

**12月 0.9% 増加**

2019年同月比 **5.6% 減少**



## 3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

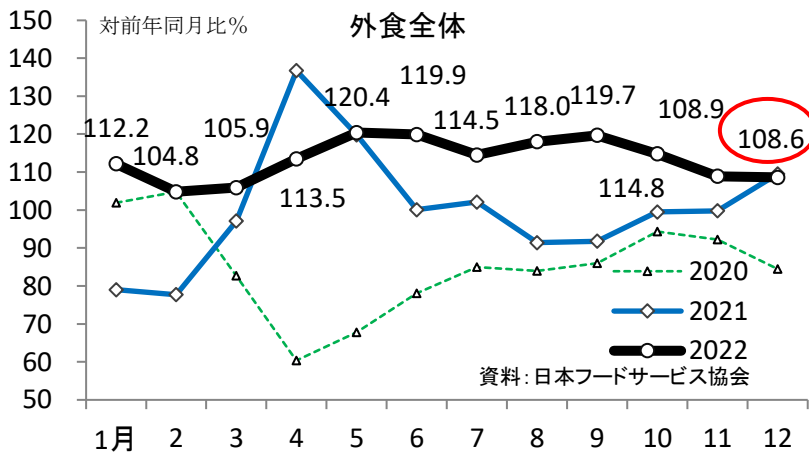
一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

### ○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

**12月 8.6% 増加**

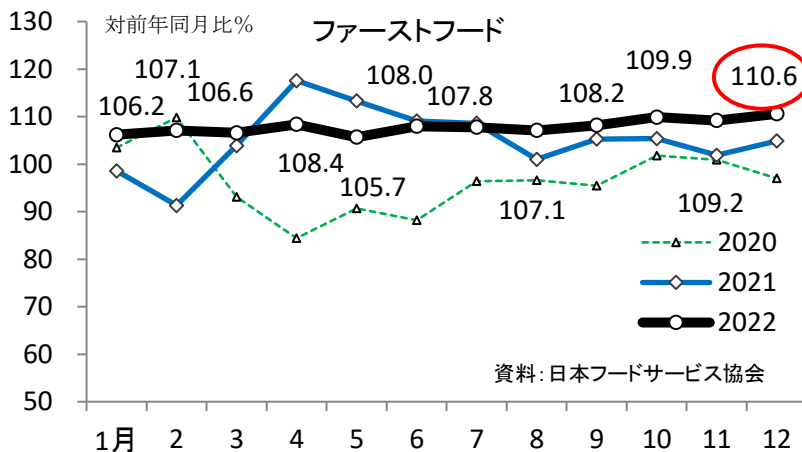
2019年同月比 **0.5% 増加**



### 3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

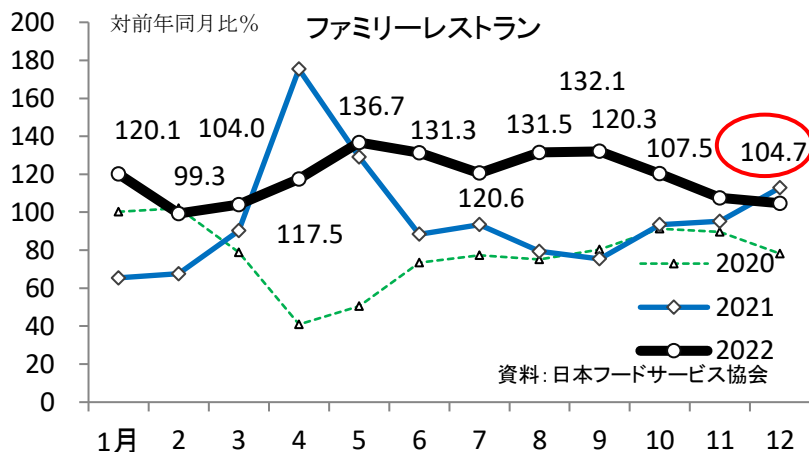
#### ○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比  
**12月 10.6% 増加**  
 2019年同月比 12.5% 増加



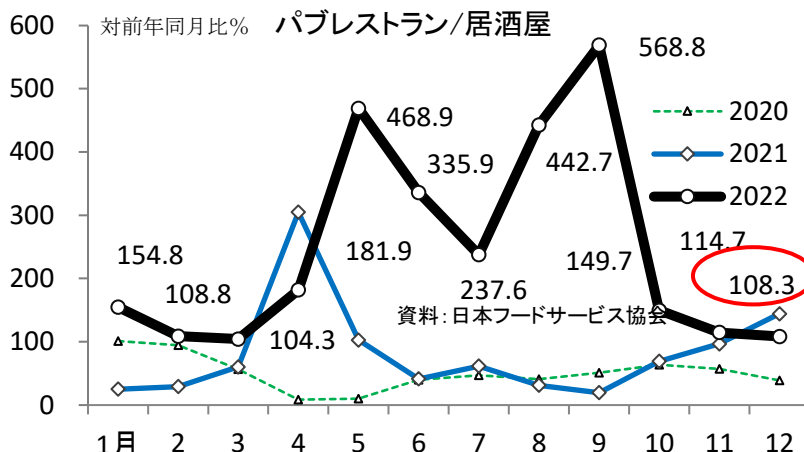
#### ○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比  
**12月 4.7% 増加**  
 2019年同月比 7.6% 減少



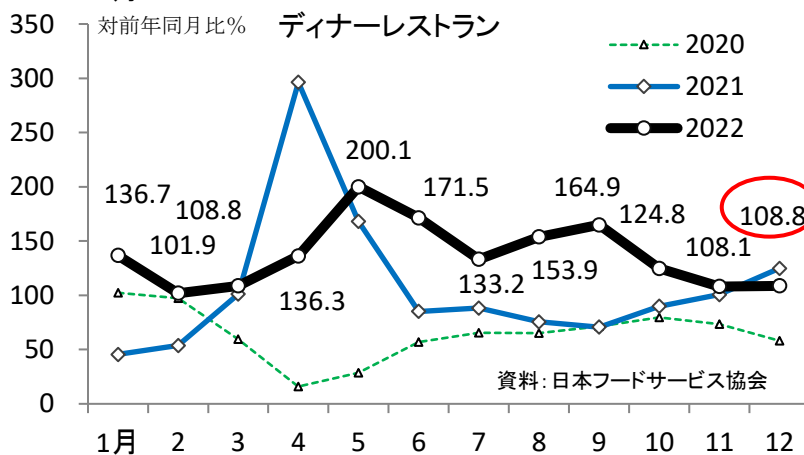
#### ○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比  
**12月 8.3% 増加**  
 2019年同月比 38.9% 減少



#### ○ ディナーレストラン

全店売上高 対前年同月比  
**12月 8.8% 増加**  
 2019年同月比 21.1% 減少



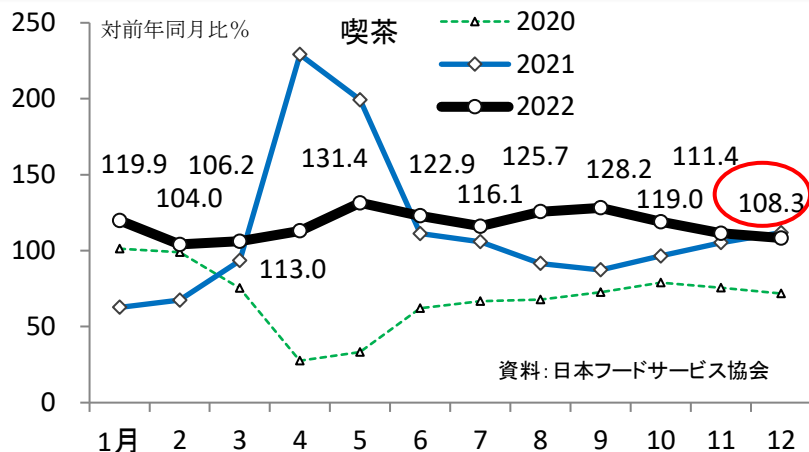
### 3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

#### ○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

**12月 8.3% 増加**

2019年同月比 **13.1% 減少**



### 4. 食料品の物価

#### ○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

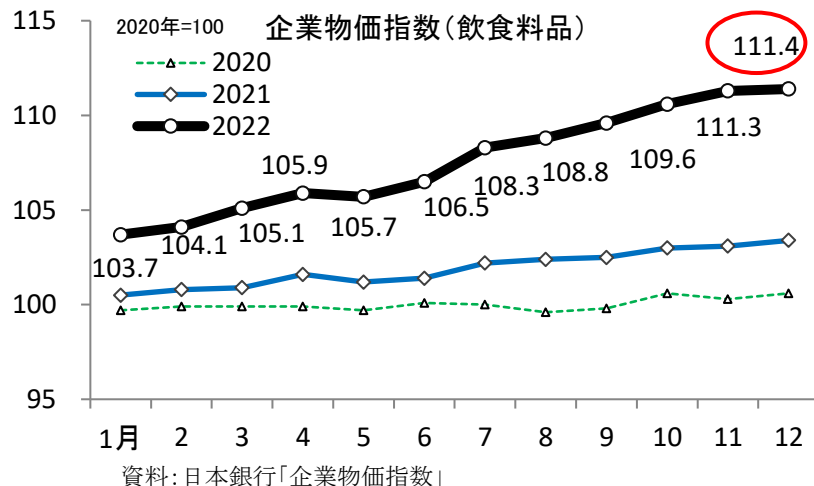
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

#### ○ 企業物価指数 (飲食料品)

飲食料品 対前年同月比

**12月 7.7% 上昇**



#### ○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

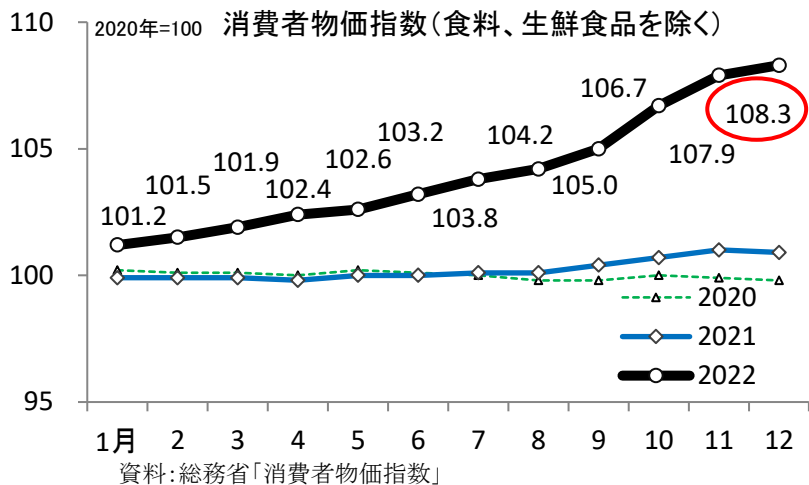
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

#### ○ 消費者物価指数 (食料(生鮮食品除く))

食料 対前年同月比

**12月 7.3% 上昇**

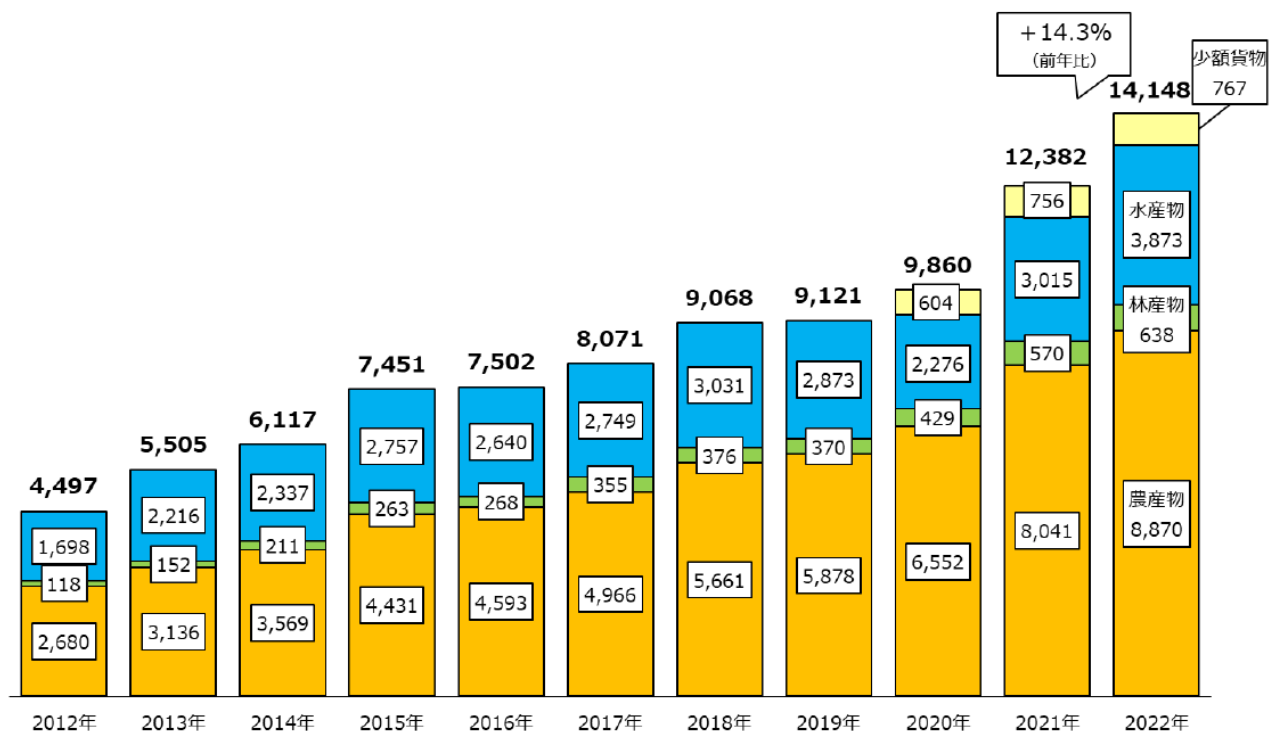




# 農林水産物・食品 輸出額の推移

農林水産省  
輸出・国際局

(単位: 億円)



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

## 2022年の農林水産物・食品 輸出額 (1-12月) 品目別

農林水産省  
輸出・国際局

品目	金額 (百万円)	前年比 (%)
<b>加工食品</b>	<b>505,167</b>	<b>+9.9</b>
アルコール飲料	139,224	+21.4
日本酒	47,492	+18.2
ウイスキー	56,078	+21.5
焼酎 (泡盛を含む)	2,172	+24.4
ソース混合調味料	48,380	+11.2
清涼飲料水	48,215	+18.8
菓子 (米菓を除く)	27,991	+14.6
醤油	9,396	+2.8
米菓 (あられ・せんべい)	5,503	▲ 2.4
味噌	5,077	+14.1
<b>畜産品</b>	<b>126,827</b>	<b>+11.3</b>
畜産物	96,820	+8.6
牛肉	52,019	▲ 4.0
牛乳・乳製品	31,926	+30.9
鶏卵	8,546	+42.4
豚肉	2,326	▲ 10.6
鶏肉	2,003	+0.6
<b>穀物等</b>	<b>62,696</b>	<b>+12.2</b>
米 (援助米除く)	7,382	+24.4
<b>野菜・果実等</b>	<b>68,702</b>	<b>+20.6</b>
青果物	47,492	+24.3
りんご	18,703	+15.4
ぶどう	5,390	+16.4
いちご	5,242	+29.1
もも	2,897	+24.8
かんしょ	2,789	+12.6
ながいも	2,690	+16.3
なし	1,346	+40.1
かんきつ	1,272	+15.5
かき	1,189	+50.0

品目	金額 (百万円)	前年比 (%)
<b>その他農産物</b>	<b>123,612</b>	<b>+4.9</b>
たばこ	12,710	▲ 12.7
緑茶	21,887	+7.2
花き	9,143	+7.5
植木等	7,385	+6.6
切花	1,514	+12.7
<b>林産物</b>	<b>63,761</b>	<b>+11.9</b>
丸太	20,559	▲ 2.4
合板	11,054	+46.9
製材	9,191	▲ 5.8
木製家具	6,893	+26.6
<b>水産物 (調製品除く)</b>	<b>300,448</b>	<b>+28.7</b>
ホタテ貝 (生鮮・冷蔵・冷凍等)	91,052	+42.4
ぶり	36,256	+32.7
真珠 (天然・養殖)	23,753	+39.1
さば	18,802	▲ 14.6
かつお・まぐろ類	17,845	▲ 12.6
いわし	11,630	+56.2
たい	7,475	+48.3
さけ・ます	6,675	+88.5
すけとうたら	3,061	+53.3
さんま	285	▲ 55.1
<b>水産調製品</b>	<b>86,878</b>	<b>+27.8</b>
なまこ (調製)	18,405	+18.6
ホタテ貝 (調製)	16,807	+108.0
練り製品	12,266	+9.0
貝柱調製品	3,914	▲ 34.4

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

※「牛肉」、「鶏卵」、「豚肉」、「鶏肉」、「かんしょ」、「かき」の金額はそれぞれの加工品を含む金額。「青果物」、「かんしょ」、「かき」の前年同月比は加工品を除く金額で算出

※「ぶり」の金額はぶり (活) を含む金額。但し、前年同月比はぶり (活) を除く金額で算出

品目別の状況 (1-12月)

農林水産省  
輸出・国際局

輸出額の増加が大きい主な品目

品目	増加額 (増加率)	主な増加要因
ホタテ貝 (生鮮等)	+271億円 (+42.4%)	米国の生産減少により、米国及び中国向けが増加したことに加え、国内主産地である北海道の生産も順調
ウイスキー	+99億円 (+21.5%)	世界的な知名度向上により、従来の中国、米国といった輸出先に加えて、シンガポール、英国向けも拡大
青果物	+91億円 (+24.3%)	香港、台湾を中心にりんごやいちご等の贈答用・家庭内需要等により輸出が増加
ぶり	+81億円 (+32.7%)	回復した米国の外食需要に対して、冷凍ぶりフィレの輸出が増加
清涼飲料水	+76億円 (+18.8%)	米国向けの茶飲料やサイダー等の加糖飲料の輸出が増加
牛乳・乳製品	+75億円 (+30.9%)	ベトナムを中心としたアジアで粉ミルク、またアジアを中心にアイスクリームその他水菓の輸出が増加
日本酒	+73億円 (+18.2%)	小売店向けやEC販売の増加等により、中国及び米国向けが増加
真珠	+67億円 (+39.1%)	従来取引の中心を担っていた展示会に代わり、業者間での直接取引が拡大

輸出額の減少が大きい主な品目

品目	減少額 (減少率)	主な減少要因
さば	▲32億円 (▲14.6%)	漁獲量の減少により、浜値が上昇し、アフリカや東南アジア向けが減少
かつお・まぐろ類	▲26億円 (▲12.6%)	ピンナガ、かつおの漁獲量の減少により輸出も減少傾向
牛肉	▲22億円 (▲4.0%)	カンボジア輸出の減少や、米国の物価高等による消費減退が影響
貝柱調製品	▲21億円 (▲34.4%)	香港の外食規制により、会食需要が減少

国・地域別の状況 (1-12月)

輸出額の増加が大きい主な国・地域

国・地域	増加額	主な増加品目
中国	+559億円	ホタテ貝 (生鮮等)、なまこ (調製)、日本酒
アメリカ	+256億円	ぶり、ホタテ貝 (生鮮等)、清涼飲料水
台湾	+244億円	ホタテ貝 (生鮮等)、牛肉、たまねぎ
シンガポール	+153億円	ウイスキー、牛乳・乳製品、牛肉
韓国	+140億円	ホタテ貝、たい、ビール

輸出額の減少が大きい主な国・地域

国・地域	減少額	主な減少品目
香港	▲104億円	たばこ、なまこ (調製)、日本酒
カンボジア	▲88億円	牛肉
ロシア	▲31億円	インスタントコーヒー

2022年の農林水産物・食品 輸出額 国・地域別

農林水産省  
輸出・国際局

順位	輸出先	2022年1-12月 (累計)						2022年12月 (単月)					
		輸出額 (億円)	金額構成比 (%)	前年同期比 (%)	輸出額内訳 (億円)			輸出額 (億円)	前年同月比 (%)	輸出額内訳 (億円)			
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物	
1	中華人民共和国	2,783	20.8	+25.2	1,671	241	871	235	+18.0	159	21	55	
2	香港	2,086	15.6	▲4.8	1,315	16	755	232	+8.6	138	2	92	
3	アメリカ合衆国	1,939	14.5	+15.2	1,323	76	539	158	▲10.2	106	5	47	
4	台湾	1,489	11.1	+19.6	1,102	41	346	208	+17.4	167	5	36	
5	ベトナム	724	5.4	+23.8	500	9	216	75	+2.8	54	1	21	
6	大韓民国	667	5.0	+26.6	379	44	244	77	+18.0	39	4	34	
7	シンガポール	562	4.2	+37.3	459	6	96	51	+13.2	40	1	10	
8	タイ	506	3.8	+14.9	262	9	235	43	+6.7	26	1	15	
9	フィリピン	314	2.3	+51.6	135	150	29	29	+32.1	13	13	3	
10	オーストラリア	292	2.2	+27.1	250	3	39	27	+3.8	21	0	5	
-	E U	680	5.1	+8.2	535	16	129	57	+0.3	47	1	9	